



SRM350v3/SRM450v3仕様シート

音響特性

周波数特性 (-3 dB)	55 Hz – 20 kHz [SRM350v3] 47 Hz – 20 kHz [SRM450v3]
周波数特性 (-10 dB)	50 Hz – 23 kHz [SRM350v3] 42 Hz – 23 kHz [SRM450v3]
最大ピーク音圧レベル	126 dB [SRM350v3] 128 dB [SRM450v3]
クロスオーバーポイント	3kHz
指向角度 [水平×垂直]	90° x 80° [SRM350v3] 90° x 45° [SRM450v3]

高域セクション

コンプレッションドライバー	1.4インチ/36mm
コーン材質	チタニウム
マグネット材質	フェライト

低域セクション

ウーファー直径	10 in / 254 mm [SRM350v3] 12 in / 305 mm [SRM450v3]
コーン材質	ペーパー
マグネット材質	フェアライト

パワーアンプ

システムパワーアンプ	
定格出力	500W(平均) 1000W(ピーク)
低域用パワーアンプ	
定格出力	400W(平均) 800W(ピーク)
定格全高調波歪	1%未満
冷却	対流式
設計	D級
高域用パワーアンプ	
定格出力	100W(平均) 200W(ピーク)
定格全高調波歪	1%未満
冷却	対流式
設計	AB級

インプット / アウトプット

チャンネル1	
Mic-Line	バランス(8Ω)
1/4" TRS, Wide-Z™	アンバランス(1MΩ)
チャンネル2	
Mic-Line	バランス(8Ω)
1/4" TRS, Wide-Z™	アンバランス(1MΩ)
RCA	アンバランス(25kΩ)
Thru	オス バランス XLR
[Ch 1 / Mix スイッチが押し込まれていないとき(Out)はパッシブ、 スイッチが押し込まれているとき(Mix)はアクティブになります]	

電源入力

US着脱式電源コード	100 – 120 VAC, 50 – 60 Hz, 160W
ACアダプター	IEC準拠3ピン250VAC / モデル、10A
電源タイプ	スイッチモード

保護機能

入力保護	リミッター(RMS,ピーク) 電源、アンプ温度保護
ディスプレイLED	フロントパワー インプットシグナル/OL スピーカーモード Feedback Destroyer アクティブフィルター システムリミッター

構造

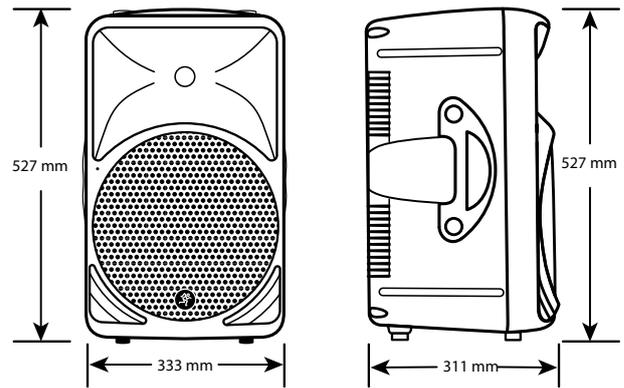
キャビネット	ポリプロピレン
仕上げ	ブラックテクスチャー塗装
グリル	耐候コーティング バンチングメタル
モニターアングル	50° [SRM350v3] 40° [SRM450v3]

寸法・重量
SRM350v3:

高さ	527mm
幅	333mm
奥行き	311mm
重量	10.4kg

SRM450v3:

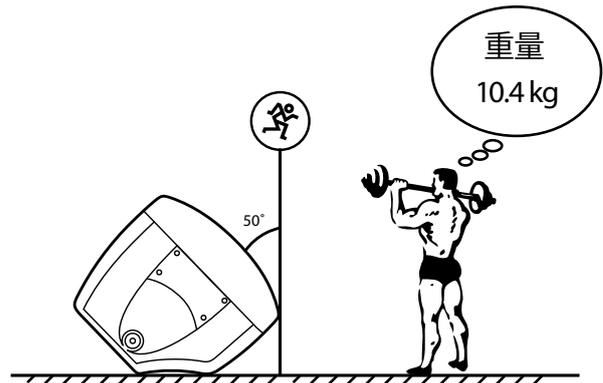
高さ	663mm
幅	406mm
奥行き	376mm
重量	16.8kg


マウント
SRM350v3:

フロアマウント、ポールマウント、オプションブラケットを使用することによりフライングが可能。

SRM450v3:

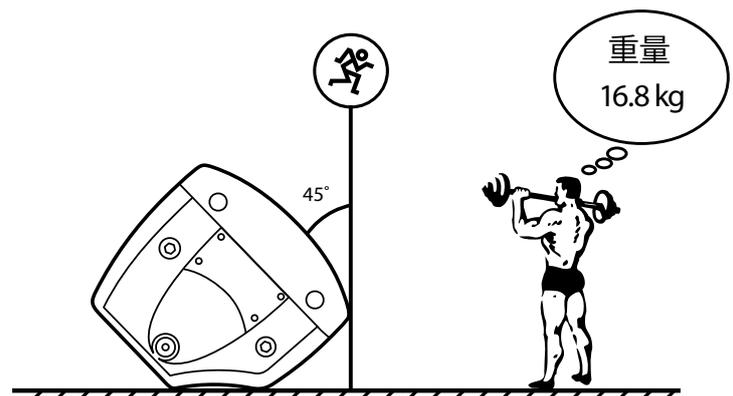
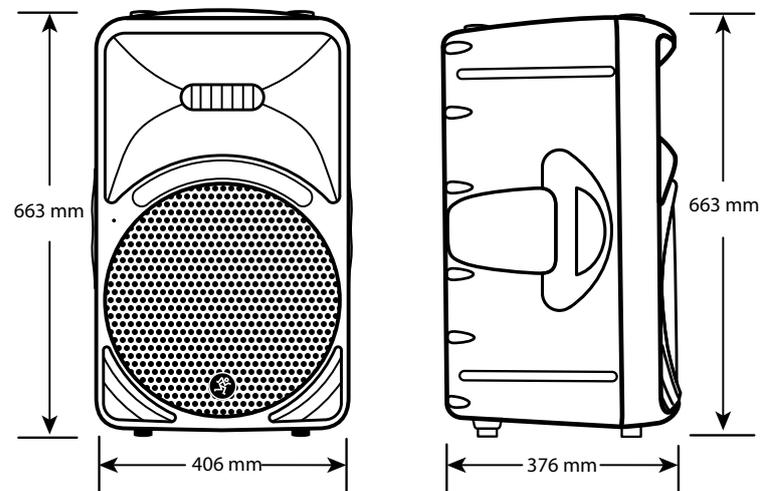
フロアマウント、ポールマウント、3カ所のM10マウンティングポイントを使用してフライングが可能です。(M10 x 1.5 x 20 mm ショルダーアイボルトを使用してください。)


オプション

SRM350v3 バッグ	P/N 093-024-00
SRM450v3 バッグ	P/N 0002843
SPM200 スピーカー ポールマウント	P/N 2035170-01
SRM350v3 ブラケットキット	P/N 0016404
PA-A1 ショルダーアイボルトキット (3 x M10 x 1.5 x 20 mm)	P/N 0031943

LOUD Technologies社は、常に新しい素材、部品、製造方法を取り入れて製品を改善するよう努めているため、製品の外観および仕様は予告なく変更することがあります。

「ランニングマン」、「Running Man」はLOUD Technologies社の登録商標です。他の商品名または会社名は各社の商標または登録商標です。



周波数特性凡例

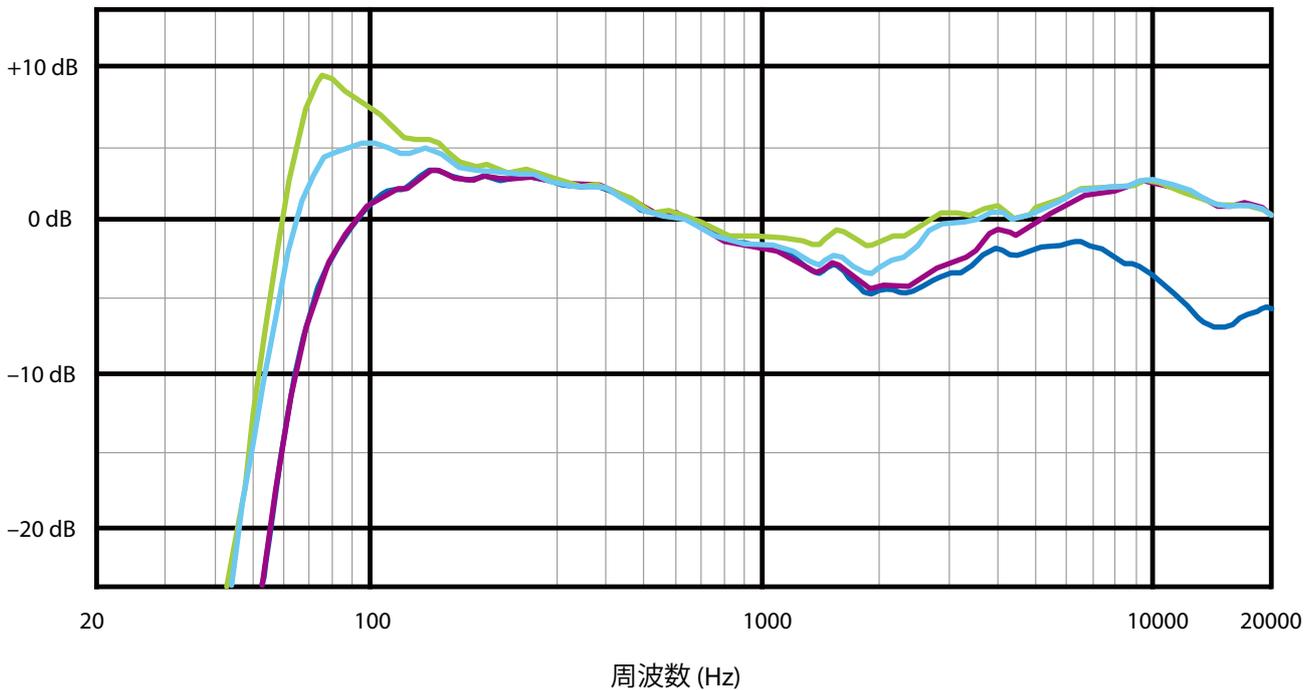
PA スピーカーモード – このモードはフルレンジですが、特に声の成分が多く存在する中域を際立たせます。一般的な PA の場合は、まずこのモードを選択するとよいでしょう。

Soloist スピーカーモード – このモードは不要な低域を取り除き、中高域にきらびやかさを加えます。シンガーソングライターのステージ用セットアップには最適です。

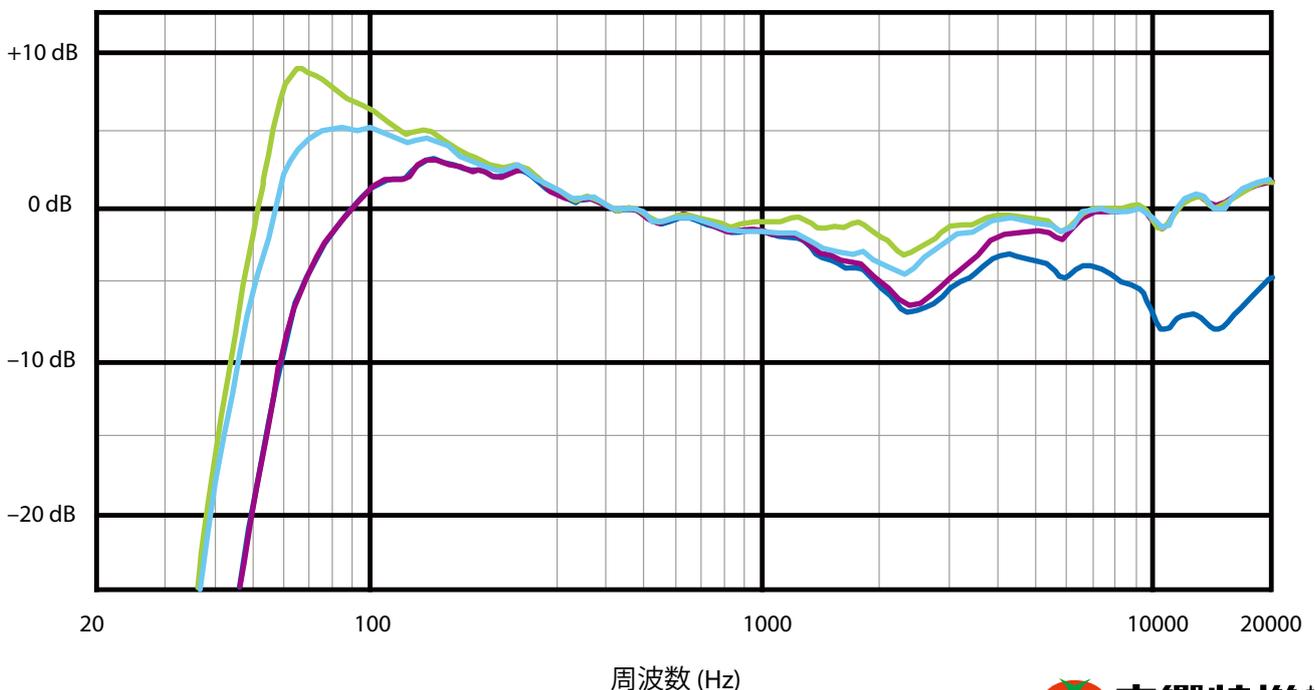
DJ スピーカーモード – このモードでは低域と高域を強調し中域に谷間ができるドンシャリ系のサウンドを再生します。音楽再生に適したモードです。

Monitor スピーカーモード – このモードは低域のロールオフ、および 2kHz 周辺をおさえることでフィードバックを発生させることなく最大レベルで再生できます。モニター用途に最適です。

SRM350v3 周波数特性



SRM450v3 周波数特性



ブロックダイアグラム

